

令和4年（2022年）8月15日

全国中学校体育大会
道内の参加校の皆様

北海道中学校体育連盟
会長 中山明彦

令和4年度全国中学校体育大会に参加する道内の選手が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者になった場合の対応について

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国的に深刻な状況となっております。本連盟としましては、このような状況下においても、全国中学校体育大会に参加する道内選手の大会への出場機会が極力確保されるよう、努めてまいりたいと考えております。

さて、令和4年8月1日付けで文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課から発出された事務連絡「新型コロナウイルスへの感染が確認された者及び濃厚接触者への対応等について」を基に、全国中学校体育大会に参加する道内の選手が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者になった場合の対応について北海道教育委員会及び札幌市教育委員会と協議をし、以下のとおりとすることを確認しましたので、よろしくお願いいたします。

- ・ 特定された濃厚接触者の待機期間は、当該感染者の発症日（当該感染者が無症状（無症状病原体保有者）の場合は検体採取日）又は当該感染者の発症等により住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、5日間（6日目解除）とするが、2日目及び3日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、3日目から解除を可能とする。また、この場合における解除の判断を個別に保健所に確認することは要しない。
- ・ 上記の場合であっても、一定の発症リスクは残存することから、7日間が経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認をしっかりと行うこと。また、感染リスクの高い場所の利用や会食等を避け、マスクを着用すること等の感染症対策を徹底すること。

<参考資料>

- ・ 新型コロナウイルスへの感染が確認された者及び濃厚接触者への対応等について
(令和4年8月1日 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課)

https://www.mext.go.jp/content/20220802-mxt_kouhou01-000004520_001.pdf